

(第2号様式)

宜野座第 2151 号  
令和 6 年 3 月 15 日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立宜野座高等学校  
校長 木崎 智久  
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和5年1月20日	場所	宜野座高等学校	出席状況	9名全員出席
第2回	日時	令和5年12月19日	場所	宜野座高等学校	出席状況	7名(評議員2名欠席)
第3回	日時	令和6年3月13日	場所	宜野座高等学校	出席状況	8名(評議員1名欠席)

2 学校評議員に求めた事項

- 今年度任期満了で退任される評議員の方へ  
(1)引き続き学校運営へのご助言、ご協力等  
(2)次年度の評議員の推薦について
- 地域の方や保護者等からの学校に対するご意見等があれば、早めに連絡をしたもらうこと。  
(迅速な対応につなげるため)
- 久志区区長・前PTA会長へ:引き続き本校の教育活動へのご助言・ご協力等を依頼した。

3 学校評議員の意見

- 暴言等が授業や部活動等であったことについて:学校評価アンケートにもこたえたが、人権に関する項目についてはゼロであるべき。中学校で空手の指導をしている。生徒の言葉遣いについても気になる。  
(学校側の説明)この件に関して、1学期で当事者(生徒・保護者、教師、教頭)が同席の上、謝罪し双方が納得した形で対応済みであることを説明した。そこで、上記2-2をもとめた。
- 特定の教科において、自習が多いという声がある。どういことか。  
(学校側の説明)管理者からの指導や出退勤の管理等をすることによって、改善されている。
- 公民館の仕事について興味を持って聞いてくれる生徒のいる。

4 学校運営に反映した事項

- 進路指導について、きめ細かく個に応じた指導の徹底と粘り強い取組
- 暴力・暴言・ハラスメントの根絶の周知・徹底
- 人権に関する配慮:自分事として考えられるように周知
- 地域との連携の強化:村の教育委員会等が開催する行事や会議等に積極的に参加し、地域との連携強化に努めた。

5 課題その他

- ICTを活用した授業改善と情報モラルの定着・指導
- 多様性のある生徒達へのきめ細やかで、丁寧な学習指導
- 人権に対する意識の高揚
- 家庭学習習慣の定着